# 兵庫県立姫路西高等学校　スーパーサイエンスハイスクール事業
# 探究の「芽」を育む授業デザイン交流会

■　研究授業概要

**テーマ「好奇心を引き出す授業づくり」**

| 教科<br>（講座名） | 授業者 | 場所<br>（対象） | 時間 | 授業概要 |
|---|---|---|---|---|
| 芸術<br>（音楽Ⅰ） | 植村 浩之 | 音楽室<br>（１－８） | ６限 | 歌唱、アンサンブル、演技、演出を伴う総合芸術であるミュージカルを題材にして、他者と協力しながら舞台づくりに取り組む。その際、生徒一人一人の個性を生かしつつ、協力して学ぶことを大切にし、より良い表現を追究する。 |
| 家庭科<br>（家庭基礎） | 石原 めぐみ | 被服教室<br>（２－２） | ５限 | 「充実した生涯へ」の分野の「高齢期の生活の領域」で、高齢者の特徴の理解とその対応について考察する。高齢者の身体的な特徴について理解を深め、どのような対応が望ましいのか理解することを目指す。 |

**テーマ「探究的な学びを取り入れた授業づくり」**

| 教科<br>（講座名） | 授業者 | 場所<br>（対象） | 時間 | 授業概要 |
|---|---|---|---|---|
| 国語<br>（現代の国語） | 井口 大輔 | 多目的教室１<br>（１－６） | ５限 | 伊藤亜紗「記憶する体」を題材に、「記憶」や「知る」という人間の認識について考えを深める。単なる教科書の読み取りに終わらせないように留意し、生徒の「知覚」に関する思考の深化、多面化を目指す。 |
| 数学<br>（数学Ⅱ） | 吉田 裕亮 | 社会教室<br>（２－３） | ５限 | １つの問題を異なる単元の知識を使って２通り以上の解法で解く。授業では、高等学校数学の単元のつながりを意識しながら、既習単元の理解を深めるとともに、多角的な見方を養うことを目的とする。 |
| 理科<br>（理数生物） | 稲葉 浩介 | 生物教室<br>（１－８） | ５限 | 動脈硬化のプラークの中にマイクロプラスチックが見つかったという最新の論文を読み解きながら、批判的思考によって結果を考察し、科学研究で言えることと言えないことの境界を考える。また、この研究報告を出発点として、次なる疑問を解明するための研究計画の立て方を考える。 |
| 公民<br>（公共） | 山本 真輝 | 多目的教室１<br>（２－７） | ６限 | 公共における経済分野を題材に、経済の基礎的な知識を学習しつつ、それをもとに社会の実態を捉える。経済上の様々な機能が本当に働いているのか、その機能に課題がないのかを検証し、多面的に考察する。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 保健体育<br>（体育） | 上田 千雛 | 体育館<br>（２－４・６） | ５限 | 「データを使えば、バドミントンの戦い方は変えられるのか」をテーマに、試合のデータを収集・分析し、自己のプレーの特徴や課題を考察する。分析結果を基に戦術や練習方法を考え、実践・再分析することで、次の学びにつなげる手段として活用する力を育む。 |

**テーマ「生成 AI を活用した授業づくり」**

| 教科<br>（講座名） | 授業者 | 場所<br>（対象） | 時間 | 授業概要 |
|---|---|---|---|---|
| 情報<br>（情報Ⅰ） | 福島 香 | 情報教室<br>（１－５） | ６限 | プログラミング分野において､生成 AI を学習支援ツールとして活用する。教員による一斉・個別指導の限界を補いながら、生成 AI から答えではなく考え方のヒントを段階的に得て、試行錯誤を重ねながらプログラムを改善する学びの実現を目指す。 |

**テーマ「教科横断型の授業づくり」**

| 教科<br>（講座名） | 授業者 | 場所（対象） | 時間 | 授業概要 |
|---|---|---|---|---|
| 英語<br>×<br>地理歴史 | 池上 美保<br>棟安 信博 | 社会教室<br>（１－７） | ６限 | 20 世紀に撮影された写真を題材にして、地歴公民科と共同し、それぞれの出来事の歴史的意義を英語で考える授業を行う。過去の事象を過去のものとしてではなく、現代につながる転換点としてとらえることを目的とする。 |